

ご使用になる前に必ずお読みください



このたびは本機をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。ご使用前に必ず次の指示と「安全にお使いいただくために」をよくお読みの上、本機を正しくお使いください。また、本書をお読みになった後は、いつでも見られるように大切に保管してください。

本機は、Windows[®] および Macintosh の各OS(オペレーティングシステム)に対応しています。



- プレゼンター機能を使用する前に、使用するソフトウェアに合わせて本体側面の電源 / プレゼンターモードスイッチを正しく設定してください。設定が不適切な場合、正しく動作しないことがあります。
- 本機ご使用前に、USB レシーバーをお使いのパソコンに接続してください。

抗菌対応

SIAAマークは、ISO22196 法により評価された結果に基づき、抗菌製品技術協議会ガイドラインで品質管理・情報公開された製品に表示されています。

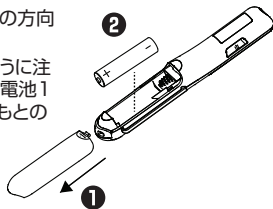


無機系抗菌剤
塗装加工：上ケース
織込：下ケース、キー
JP0122123A0014R

ご使用前の設定

電池を交換する

- 1 本体裏面の電池ふたを矢印の方向に押しながらかしめます。
- 2 極性(+、-)を間違えないように注意し、電池ケースに単4形乾電池1本を入れてから電池ふたをもとの位置に戻します。

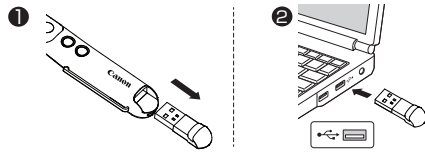


警告 電池を交換する際は、小さなお子様が誤って電池を口に入れないように手の届かない場所で行ってください。万一、飲み込んだ場合はただちに医師にご相談ください。



- 使用済みの電池は (+) 極 (-) 極をテープで絶縁してからお住まいの地方自治体の条例に従って廃棄してください。
- 電池の極性 (+、-) を間違えないように入れてください。電池の極性を間違えて入れると事故の原因となります。
- 本機で使用できる電池は単4形乾電池です。交換の際も同じ種類のものを使用してください。
- 液もれなどによる故障を防ぐため、長時間使用しないときや電池を使い切ったときは電池を取り出してください。
- 電池残量が少なくなると、電源オンしたときやキー操作をしたときにレーザー表示ランプが4回点滅します。もうすぐ電池がなくなりますので、すみやかに電池を交換してください。

USBレシーバーを接続する



- 1 本体表側からUSBレシーバーを取り出します。
- 2 お使いのパソコンのUSBポートにUSBレシーバーを接続します。(ソフトウェアのインストールは不要です。)
※ Mac に接続し「キーボード設定アシスタント」画面が開いたときは、指示された操作はせずにそのまま閉じてください。
- 3 電源 / プレゼンターモードスイッチを、使用するソフトウェアに合わせて「Keynote」または「PowerPoint」に合わせます。
- 4 自動的に接続を開始します。

使い方のヒント

- 本機をパソコンと接続する前に、必ずパソコン内のデータのバックアップをお取りください。
- パソコンと本機の間で接続がうまくいかないときは、電源 / プレゼンターモードスイッチを動かし、電源を入れなおしてください。
- 電源を入れなおしても接続できないときは、さらに次をお試しください。
(A) 電源 / プレゼンターモードスイッチで電源オフし、パソコンからUSBレシーバーを取り外します。
(B) (戻るキー)と本体側面の音量調節キー (音量を下げる)を同時に押します。2つのキーを押したまま電源 / プレゼンターモードスイッチを動かして電源オンします。
※レーザー表示ランプが点滅を始めます。
(C) パソコンのUSBポートにUSBレシーバーを接続します。
※接続が確立されるとレーザー表示ランプの点滅が止まります。
- 他のパソコンで本機を使用する場合は、再度USBレシーバーの接続を行ってください。
- パソコンとの接続には乾電池からの電源供給が必要です。電池残量が不足していると本機はパソコンと接続することができません。
- 本機の使用が終了したら、パソコンからUSBレシーバーを取り外し、本体表側の所定の場所に戻してください。

仕様

型式	: キヤノン「PR80-GC」
電源	: 単4形アルカリ乾電池 x 1本
推奨使用温度	: 0°C ~ 40°C
外形寸法	: 135mm(奥行) x 23mm(幅) x 22mm(高さ)
重量	: 27.5g (電池をのぞく) / 39.5g (電池を含む)
付属品	: USBレシーバー(D20B)、 単4形アルカリ乾電池 x 1本

- 改良のため、予告なく仕様の変更を行うことがあります。

ワイヤレス仕様

周波数	: 2.4GHz
動作距離	: 最大 20メートル



- 接続範囲は、近くに金属物がある場合や、本体とUSBレシーバーの相対位置などにより変化する場合があります。(近くに金属物があると通信距離が短くなる場合があります。)
- 本機とパソコンの間の通信には2.4GHzの周波数を使用しています。本機の近くで同じ周波数の製品をご使用になると、本機が正しく動作しない場合があります。

動作環境

- パソコン
 - 下の対応OSがプレインストールされているIBM PC / AT互換(DOS/V)機 / Macintosh
 - 本体にUSB 2.0 ポートを装備しているもの
- 対応OS
 - Windows[®] 7、Windows[®] 8、Windows[®] 8.1、Windows[®] 10
 - Mac OS X 10.5 ~ 10.11、macOS 10.12、10.13
- 対応ソフトウェア
 - PowerPoint[®] 2007、2010、2013、2016
 - PowerPoint[®] for Mac 2011、2016
 - Mac 用 Keynote 6.5、6.6、7.0、7.3
 - Adobe[®] Reader[®] 11 #
 - Adobe[®] Acrobat[®] Reader[®] DC、2017 for Windows[®] #
 - プレビュー 4.2 ~ 10.0 #
- #: スライドショー開始・終了機能はご利用いただけません。
- その他、上の対応OSが推奨する動作環境に準拠。
- 機器の構成により正常に動作しない場合があります。
- 上記以外のOSをご使用の場合は、動作しません。
- 以前のOSからアップグレードしたパソコンでの動作保障は致しません。

商標、ライセンスについて

- Microsoft、Windows は、米国 Microsoft Corporation の、米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Macintosh、Mac、OS X、macOS、Keynote は、米国および他の国々で登録されたApple Inc. の商標です。
- その他の会社名および製品、サービス名は、それぞれを表示するためだけに引用されており、それぞれの各社の登録商標または商標である場合があります。

お問い合わせ窓口

キヤノンお客様相談センター

(全国共通番号) 050-555-90025

【受付時間】平日・土 9:00 ~ 17:00

休業日: 日・祝日、1月1日~3日、12月31日

※上記番号をご利用頂けない場合は、043-211-9632をご利用ください。

- ※ IP電話をご利用の場合、プロバイダーのサービスによってはつながらない場合があります。
- ※ 上記記載内容は、都合により予告なく変更する場合があります。予めご了承ください。

2021年9月現在

キヤノンマーケティングジャパン株式会社

〒108-8011 東京都港区港南2-16-6 お問い合わせ先 050-555-90025

© CANON ELECTRONIC BUSINESS MACHINES (H.K.) CO., LTD. 2021
PRINTED IN CHINA

Canon

PR80-GC

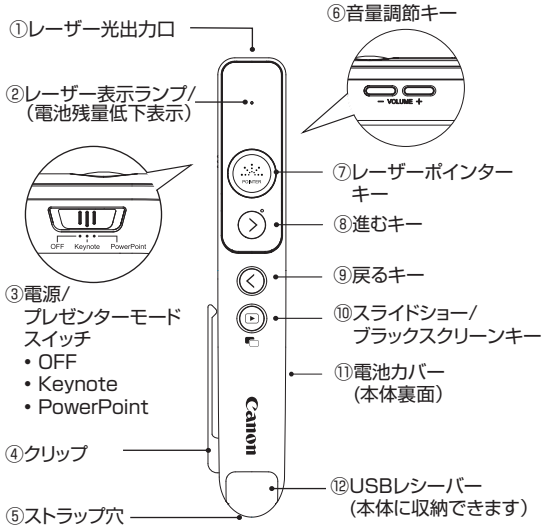


E-IJ-1451

使用説明書

各部の名称

本機



- ①レーザー光出力口
- ②レーザー表示ランプ (電池残量低下表示)
通常レーザー表示ランプは電源オンしたときは赤色、レーザーポインターキーを押したときは緑色に点灯します。電池残量が少なくなると、電源オンしたときやキーを押したとき赤色で4回点滅します。この場合はすみやかに電池を交換してください。レーザーポインター機能が正しく動作しないことがあります。また、電池残量が不足していると本機はパソコンと接続することができません。
- ③電源/プレゼンターモードスイッチ
電源のオンオフや、プレゼンター機能で使用するソフトウェアを設定するときに使用します。
- ④クリップ
胸ポケットなどに本機をはさみ、携帯するのに便利です。
- ⑤ストラップ穴
ストラップやひもをつけてお使いください。手軽に持ち運んだり手首につけて落下を防ぎます。(ストラップやひもはパッケージに含まれていません。)
- ⑥音量調節キー
音量を小さくしたいときは 、大きくしたいときは を押します。
- ⑦レーザーポインターキー
このキーを押して指し示したり強調したい箇所にレーザーを当てます。
- ⑧進むキー / ⑨戻るキー
スライドショー実行中に、この2つのキーで前後のスライドを表示します。
- ⑩スライドショーキー / ブラックスクリーンキー
スライドショーを開始するときと終了するときを使用します。1秒以上長押しすると、ブラックスクリーンとスライド表示を切替えることができます。
- ⑪電池カバー(本体裏面)
- ⑫USBレシーバー
使わないときは本体表側に収納できます。

レーザーポインター機能を使う

■ レーザーポインターを使う

- 1) 本体側面の電源 / プレゼンターモードスイッチを「Keynote」または「PowerPoint」に動かし電源を入れます。
- 2) レーザー光出力口(①)を指し示したい方向へ向け、 を押します。レーザーポインターキーを押している間はレーザー表示ランプ(②)が点灯します。

プレゼンター機能を使う

■ 設定

プレゼンター機能を使うときは、本体側面の電源 / プレゼンターモードスイッチを使用するソフトウェアに合わせて「Keynote」または「PowerPoint」に正しく設定してください。設定が不適切な場合、正しく動作しないことがあります。

■ 使用できるソフトウェア

プレゼンターモードスイッチを「Keynote」に合わせたとき：
Mac 用 Keynote

プレゼンターモードスイッチを「PowerPoint」に合わせたとき：
PowerPoint[®]、PowerPoint[®] for Mac

- ・ Adobe[®] Reader[®] for Windows[®] (または Adobe[®] Acrobat[®] Reader[®] for Windows[®]) とプレビューは、プレゼンターモードスイッチをどちらに合わせたでも使用できます。

■ スライドショーを実行する

- ② を押してスライドショーを開始します。もう一度押すとスライドショーを終了します。

- ・ Adobe[®] Reader[®] for Windows[®] (または Adobe[®] Acrobat[®] Reader[®] for Windows[®]) とプレビューでは、スライドショー開始・終了機能がご利用いただけません。スライドショーを開始、終了したいときは、パソコンで操作をしてください。

■ スライドショー実行中にスライド間を移動する

- ⑧ (進む) : 次のスライドを表示します。
- ⑨ (戻る) : 前のスライドを表示します。

■ ブラックスクリーン

- ⑩ を1秒以上長押しするとパソコンの画面をブラックスクリーン(真っ黒な状態)にすることができます。もとの画面に戻るにはもう1度1秒以上長押しします。

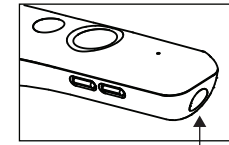
- ・ Adobe[®] Reader[®] for Windows[®] (または Adobe[®] Acrobat[®] Reader[®] for Windows[®]) とプレビューはブラックスクリーンに対応していません。

レーザーの安全基準

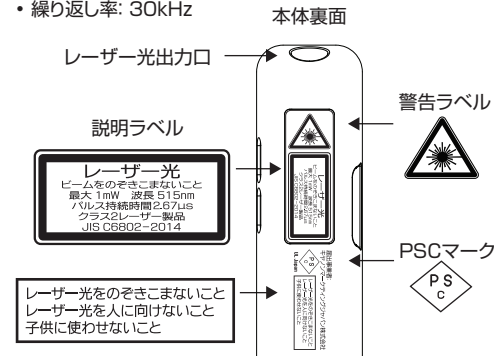
本製品はJIS「レーザー製品の放射安全基準C6802 クラス2 レーザー装置」に該当します。
また、本製品は「消費生活用製品安全法(PSC)」に適合しているため、安心してご使用いただけます。

クラス2レーザー装置

- ・ 最大出力:<1mW
- ・ レーザー波長: 515nm
- ・ レーザー光の種類: パルス
- ・ ビームの開き: $\alpha = 1.5 \text{ mrad}$
- ・ ビーム径(最大): 約17mm (距離15m時)
- ・ パルス持続時間: 2.67 μ s
- ・ 繰り返し率: 30kHz



レーザー光出力口



故障かな?と思ったら

本機がパソコンと接続できない、または正しく機能しない場合は下の事項を確認してください。

- ・ 電池の極性 (+、- の方向) を確認してください。
 - ・ お使いのパソコンが動作環境条件を満たしているか確認してください。
 - ・ USBレシーバーがパソコンのUSBポートに正しく差し込まれているか確認してください。
 - ・ パソコンと本体の間に障害物がある場合は取り除いてください。
 - ・ 電源を入れたときや、キー操作をしたときに、レーザー表示ランプが赤く4回点滅したらすみやかに電池を交換してください。
 - ・ 電磁干渉や静電気放電により表示部に誤動作が起きる場合があります。その場合は、電源/プレゼンターモードスイッチをOFFにして本機の電源を切り、再度電源を入れてください。
 - ・ 本機のUSBレシーバーをノートパソコンに接続した場合、お使いのノートパソコンによって以下のようなメッセージが表示され、タッチパッド機能が無効になることがあります。タッチパッド機能を有効にしたい場合は、お使いのノートパソコンのタッチパッド設定を確認してください。
- ※ お使いのパソコンによって表示/設定方法が異なることがあります。



安全にお使いいただくために

この装置は、クラスB機器です。この装置は、住宅環境で使用することを目的としています。この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
使用説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。VCCI-B



警告

取扱いを誤った場合に、死亡または重傷を負う恐れのある警告事項が書かれています。安全に使用していただくために、必ずこの警告事項をお守りください。

- ・ 本体には磁石が内蔵されています。(外側からは見えません。)心臓ペースメーカー等の医療機器を装着されている方は、本体を装着部から十分離して使用してください。磁気が医療機器の誤動作の原因になることがあります。万一、身体の異常が回復しない場合、直ちに専門医の診察を受けてください。
- ・ 落としたり、ぶついたり、異音があるなどの異常が発生した場合はキャノンお客様相談センターにご連絡ください。
- ・ 本機を分解したり、改造しないでください。火災や感電の原因になります。
- ・ 航空機内・病院でのワイヤレス製品使用について
航空機内での無線機器の使用は、計器に悪影響を及ぼす可能性があるため禁止されています。機内での本機の使用は避け、機内に持ち込むときは電源をお切りください。病院など、電波機器の使用が禁止されている場所で本機を使用しないでください。本機の発する電波により、医療機器に影響を及ぼす恐れがあります。
- ・ 小さなお子様の手が届かないように管理、使用してください。
- ・ 絶対にレーザー光を覗き込んだり、人に向けたりしないでください。
- ・ レーザー光を絶対に目に照射しないでください。
- ・ レーザー光を鏡などに照射すると、反射光で目を傷める恐れがあります。
- ・ 本説明書に記載されている以外の操作、修正は、危険な放射被ばくをもたらす可能性がありますのでおやめください。



注意

取扱いを誤った場合に、障害を負う恐れのある内容が書かれています。必ずこの注意事項をお守りください。

- ・ マグネットには磁石類を使用していますので、本体を鉄粉の多いところに置いたり、キャッシュカードなど、磁気で記録されるものに近づけないでください。
- ・ 湿気やほこりの多い場所には置かないでください。火災や感電の原因になることがあります。
- ・ ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所、振動の多い場所には置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因になることがあります。
- ・ 本機の上には重いものを載せないでください。置いたものが倒れたり、落下して怪我の原因になることがあります。
- ・ 本機の内部に、水や液体、異物(金片)が入ると、火災や感電の原因になることがあります。その場合は、キャノンお客様相談センターにご連絡ください。

本機を廃棄する際は、地方自治体の条例に従って処理をするようお願い致します。詳しくは各地方自治体にお問い合わせください。